

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		稲荷町自転車駐車場整備				所管	都市づくり部	
							交通対策課	
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	65	計画事業名	自転車等駐車場の整備		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (1)都市機能の充実					[事業開始] 平成 2 5 年度	
		[施 策] ② 快適な都市空間の創出[27]					[終了予定] 平成 2 6 年度	
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	東京都台東区自転車等の放置防止及び自転車駐車場の整備に関する条例			
	事業対象	自転車利用者						
	事業目的	安全な歩行空間の確保を目的として、銀座線稲荷町駅周辺に自転車駐車場を整備し放置自転車の削減を図る。						
	事業内容	整備概要 (1)整備台数 61台 (2)料金等 1日利用150円(利用開始から2時間無料) (3)利用開始 平成26年3月25日						
委託の有無	なし		委託内容					
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	収容可能台数 台		69	-	-	61	
		(26年度整備終了予定)						
	成果指標	稲荷町駅周辺放置自転車台数 台		50	-	-	75	
	決算額 (単位：千円)				-	-	7,770	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			-	-	3,409	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			-	-	0	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			-	-	7,770	
		総経費			-	-	11,179	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			-	-	0		
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			-	-	2,910		
	一般財源 (区負担額)			-	-	8,269		
前年度から改善した事項		25年度新規事業である。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	1	整備予定台数分の整備終了のため。					
	効率性	4	歩道上に自転車駐車場を整備することで、土地代等のコストを削減することができた。 また、自転車走行部分から直接駐輪できるよう整備することで、歩行者等の安全が確保された。					
	手段の適切性	3	整備と同時に、駅周辺に指導整理区域の指定をし、撤去の強化等放置自転車対策を効果的に推進している。					
	目的達成度	4	整備後の正式な調査を実施していないため数値化で判断できないが、整備前に問題となっていた箇所(駅前交差点付近やニッセイビル)は大きく改善している。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
稲荷町駅周辺の放置自転車対策として、自転車駐車場の整備、指導整理区域の指定を行うことで、放置自転車の削減を図ることができた。								